R７夏季大学　感想【第2講座】

【オンライン】

○ほっとするお話があったり（講演）、落語があったりと、時間が早く過ぎていったように感じました。

○落語から考える教育について自身を振り返ることができ、これからに生かしていきたい。

○落語の面白さと奥深さを感じました。今、目の前の人が大事という言葉がとても心に残りました。時に見方を変えて、相手のことを考えて、ボケとツッコミの考え方も取り入れられたらいいなと思います。ありがとうございました。

○夏季大学で落語の受講は初めてでしたが、とても面白く、引き込まれました。また、話術も素晴らしく、改めて師匠の他の演目も聞いてみたいと思いました。

○そうか、そういう見方があるし、切り返しがあるのかと、思いもつかない社会や人間の切り取り方がたくさんあり、新鮮な思いで聴くことができたし、心の底から笑いがこみあげてきました。

○ウィットに富んだコミュニケーションはとても重要だと感じました。授業など、子どもとのかかわりの中でも子どもたちの心が和みつつ、つながる会話ができる人間でありたいと感じました。

○「落語」は人を笑わせるだけのものではなく、はっとさせられることや、思い切り泣けることがあると思っています。ぼけと突っ込みは日常でも大事ですが、お互いを知ることや、お互いを思う関係性でなければうまくいかないと思います。授業中にぼけた時、突っ込んでくれる生徒のいるクラスは授業もやりやすいです。これからも技を鍛えていこうと思います。ありがとうございました。

○言葉の力の大切さ、凄さを感じました。落語を通して、日本らしい感覚の良さを知ることができたと思います。「分散力・鈍感力・決定力」だけでなく割勘力や塩梅など、一人で生きているのでなく他者との関わりがベースにあることに気づきました。 （落語初心者なので）落語を聞いて、話の展開が早くて脳が活性化された感じがします。

○落語はおもしろいと言われているにもかかわらず、なかなか聞く機会がなく、また自分でも行動しなかったので初めてちゃんと聞きました。「出会いに照れるな」ということがテーマでしたが、年を重ねると面倒だったり、遠慮したりする場面が増えてきたように感じる毎日の中で、「出会い」は旬なのだから、その時を逃してはいけないのではと思いました。今、目の前の人を大切にできるように過ごしていきたいと思います。

○落語の奥深さを教えていただきました。大変面白く、また考えさせられることもたくさんあって、参加してよかったと思いました。

○子どもがやりたい、こうなりたいをできる限り支えられるような教師でありたいと思いました。また、困難なことをかわす（笑いにかえる）考え方をもつことが、教師にとっても子どもたちにとっても大切だということも学びました。辛いことの見方をどうやって変えるか、今の時代にはそんな力も必要であることを学ばせていただきました。

○相手を意識すること、違った面から考えること、ボケの大切さを学びました。

○遊び心のある講座で興味を持って参加しました。直接的に教育課題に向き合う時間ももちろん大切なのですが、一見遠回りに見える内容を学ぶことの価値を実感できる講座でした。

○落語に触れる機会がなく、今回とても楽しみにしておりました。信頼関係を確かめる。相手を否定しない。ボケることを大切に。今の私にはとても大切なアドバイスをいただけました。また、落語は心から楽しめ、情景を浮かべながら引き込まれていきました。本当に素敵なひと時をありがとうございました。

○落語は見方の違いによるギャップを笑いにする、ベースは相手側の目線になることというお話を聞き、いつの時代においても落語が老若男女に親しまれている理由がわかりました。ともすると、同じ見方、考え方の仲間と一緒にいることに安心感を覚える時代ですが、他人目線で空間や時間を見つめ、その先の未来を思い描けることがコミュニティケーションとして大切な考え方なのだと感じました。

○楽しみながらも人と付き合っていく上でのヒントを得ることができました。塩梅という感覚的なものですが、他人との関わる上でとても大切なことだと思います。他人目線を意識し、考えが偏らないようにしていかなければ、と気づかされる講義でした。ありがとうございました。

○人と関わる機会が多いので、今回のコミュニケーションに大切な力の話がためになった。相手がどんなことを求めているのか想像しながら会話したい。

○立川師匠のお話、とても参考になりました。 私の職場ではクラスを三人の教員で支援しているので人間力、分散力といったお話とても参考になりました。また、落語の演目も暑い中でしたが、笑ってとても楽しめるものでした。ありがとうございました。

○出会いに照れないを軸として、講演と落語の二面から学ばせていただきました。 他者目線に立ってみる、出会うことに照れない、これは子どもたちと接する上でも非常に大切なことと思います。休み明け、子どもたちと再会するときの出会い方を今からイメージしておきたいです。素敵な講演をありがとうございました。

○決定力と聞くと、自分の行為や方向を決めることと捉えていましたが、教師として子どもに声をかけることで、その子の将来の方向を決めることも大いにあると気づかされました。相手の立場に立つこと、見方を変えることの大切さを改めて感じることができました。コミュニケーションをとる上でユーモアを大切にしているところですが、相手をほっとさせることができる声掛けを今後も心掛けたいと思います。

○ズームでの参加もでき、参加しやすく有り難かった。 講師も魅力的で大変面白かった。

○軽快な語りに圧倒されました。 何よりも落語がとても魅力的でした。ありがとうございました。

○コミュニケーションに必要な、間と想像力、そして相手目線の話、落語の一説を交えながらの話 楽しく聞かせていただきました。

○普段あまり触れることのない落語を聞くことができ、よかったです。

○ボケが大事ということが心に残った。

○落語の話のようで、子どもとの関わり方の話だと気付かされました。 相手の立場に立ち想像力を働かせたら、相手へかける言葉も変わってくるのだと思います。最後にサラリとおっしゃった、今、目の前の人が大事という気持ちを、心がけたいです。

○テンポの良いお話で具体を挙げてしていただけたので、聞いていてとても勉強になったとともに、楽しい時間でした。落語も普段触れる機会がありませんが、とても楽しかったです。

○楽しい時間になりました。本物の落語を聞くことがなかなかありませんので、よい機会になりました。目の前の人や目の前の事に全力で取り組むことの大切さを教えていただいた気がします。

○間のとりかたって改めて大切だと感じました。 落語を通して自分の感性を高めていけたらと思います。

○人間関係を良好にしていくためには、やはりユーモアが大事なのだと改めて認識した。子どもに注意する際にも、重大ではないことであれば、面白く言っていきたいと思う。「行為をやめさせる」ということが目的であれば、それが達成できて楽しい気持ちでいられるなら、良いのではないかと考える。毎回嫌な言い方をするのではなく、楽しく学級運営していく方法を考えていきたいと思える良い契機であった。

○子どもの頃から何気なく聞いていた落語から多くのことが学べるということが新鮮でした。 ご自身の経験も交えてのお話がまたよかったです。 「すぐにわからなくてよい」「他人感」というのは、今の教育の現場ではなかなか難しいと思いますが、大人の私たちにもとても大事な感覚だと思いました。 ありがとうございました。

○初めて落語を聞かせていただきました。師匠の対応力やユーモアを交えた講演、とても勉強になりました。「他人目線」を生徒たちの関わりの中で活かしていきたいと思います。

○分散力、鈍感力、決定力の３つの力が心に残りました。また、講演だけでなく高座を一席も受けていただいたことが大変よかったです。

○子どもたちとの接し方、コミュニケーションについてなど、立川師匠の言葉にとても感動しました。ありがとうございました。

○噺家さんは、言葉一つでその情景を受け手側に連想させてくれる。これは技能のみならず，情の豊かさ、敬愛の心が携わっていないと、よい寄席ができない。落語家で『真打』といわれる人のすごさを改めて感じさせられました。噺家とお客様でよい寄席が作れるように、先生と児童生徒でよい学校をつくるためのきっかけを作っていただいた講座でした。ありがとうございました。

○初めてじっくり落語を聞かせていただきました。「出会いに照れるな」子どもたちとの出会いを大切にしなさいという、先生からのメッセージと受け止めて2学期も頑張ります。

○出会った相手と未来を共有できるコミュニケーション力を磨きたいなと思いました。落語は以前から好きですが、最近触れられていなかったので、今日は大変楽しい時間を送ることができました。目の前の子どもたちと関わる上でも大事な視点がたくさんあるので心がけていきたいなと思いました。本日はありがとうございました。

○落語はもちろん、話し方や話の内容から、勉強になりました。

○初めての落語、ほとんど知らなかったことばかりですが、談慶師匠のお話の１つ１つからたくさんのことを学ぶことができました。日々の校務、また自分の生き方へと活かしていきます。

○「出会いに照れない」ご講演ありがとうございました、講義１、講義２、そして質疑応答という構成も研修になりました。趣旨と落語の楽しみと感想、疑問が結びつきました。ありがとうございました。

○「分散力」「鈍感力」「決定力」そして、「割り勘力」とてもいい言葉だなと感じました。生徒とのかかわりの中だけでなく、校務分掌にもぜひ反映させてほしいと感じました。

○お話のプロでした。流暢に次から次へと言葉が出てきてうらやましいです。

○落語も聴け、言葉のもつ力についても学ぶことができました、ありがとうございました

○とてもよかったです

○落語、楽しく聞かせていただきました。

○話芸のプロから繰り出されるアドリブの返しが目から鱗でした。児童や生徒が思わずクスッとなるような瞬間って、あたたかな雰囲気を生み出しますし、教育に必要だなぁと感じました。

○子どもと接するとき、子どもがどう考えているかどうしてそういった行動に出たのかというところを考えるのを忘れてしまう時があり、今回の講座を聞いて相手の目線に置き換えて考えることの大切さを改めて感じました。

○古典文化の落語に触れることができよかった。視点を変える・相手の立場に立つ・鈍感力など、子ども相手だけでなく、日頃のコミュニケーションにも生かせるお話をお聞きできありがたかった。

○忙しさを言い訳に”間”の大切さを忘れてしまいがちな昨今であります。見方を変えて、ピンチをチャンスに、うまく立ち回っていこうと思います。素晴らしい講義、落語をありがとうございました。

○深い話をお伺いできました。感動しました。

○久しぶりに落語を聴きました。「他人目線」考えながら2学期も頑張ろうと思いました。

○普段のコミュニケーションのあり方などについても考えさせられる時間となりました。 そして、楽しく、学ぶ時間にもなりました。ありがとうございました。

○師匠の『間』に引き込まれました。 学校生活の中で、子どもたちは想像力が足りないと感じていました。今日のお話を聞き、2学期からの子どもたちとのやりとりを考えていきたいと思います。 子どもを鏡にうつった自分だと思ってやっていきたいと思います。

○立川談慶師匠の講演、落語共に、楽しく軽妙な語り口の中にも奥深さがあり勉強になりました。子ども達はもちろん、先生方、保護者の皆さんと、これから先・未来を描けるコミュニケーションをとれるよう、相手目線を大切にして想像力を働かせたいと思いました。

○子どもたちに対する時、発想の転換をして接するようにできたらと思いました。 落語も楽しい中にメッセージが詰まっていて、良い時間を過ごさせていただきました。

○話すことで引き込む力を感じさせてもらいました。授業でこどもがクスッとなる瞬間を作れたらいいなと思います。

○その先をつなげていくことを子どもとも意識していきます。

○今まで落語を見たり聞いたりする機会がなかったので、貴重な体験になりました。ありがとうございました。

○分散力、鈍感力、決定力の話がとても面白かったです。

○師匠のお話を聞いて、自分がいつも子どもたちに否定的な言葉を使っていることが多いなと感じました。子どもたちの可能性を伸ばすためにも、肯定的な言葉を投げかけることが大切だと改めて感じるお話をいただき、ありがとうございました。

○学校生活においても、日々の私自身の在り方においても、他人目線で捉えつつ、分散力や鈍感力を状況に応じて活用しながら、コミュニケーションをとっていきたいと思いました。そうすることで、学校にて起きる課題についても、乗り越えていくことができる視座をいただきました。また、これだけ長い時間情熱的に語り続け、瞬発力よく思慮をもってお話しされる姿にも感服いたしました。貴重な学びの時間をありがとうございました。

○決定力のお話が印象に残りました。

○落語は好きなので、立川談慶師匠のお話、とても楽しくお聞きできました。 コミュニケーション力を高めていくためのボケ、勉強していきたいです。

○落語家ならではのボケを随所にちりばめながら、ためになるお話を聴けた。「他人目線」、問題行動児生の目線に立って、問題をうまく笑い飛ばせるようがんばっていきたい。

○普段ふれることがない落語にふれることができ、職員室で先生方と楽しい時間を過ごしていました。勇気がでないときには師匠の「出会いに照れるな」の言葉を思い出して、たくさんの人と関わっていきたいです。そして、2学期も笑いがあふれる教室になるように意識していきたいです。

○落語を聞く機会は多くないので、とても貴重な機会でした。とても楽しく聞かせていただきました。他者とうまく関われない人が多いと感じている昨今ですが、「コミュニケーションのその先」というお話が今とても大切だと感じながらお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。

○心に余裕がないと、なかなか逆転の発想が出来ないと思うので、日々の生活や人との付き合いの中でも、慌てず焦らず、結論をすぐに求めないようにしたいと思いました。

○落語を聴く機会がなく、今回初めて見させていただきました。とても楽しくあっというまの講演会でした。教員としていろいろ悩むこともありますが、ボケとツッコミを交えて子どもたちと関わっていきたいと思います。

○くすっと笑える場面がたくさんあり、気持ちが軽くなりました。割り勘力を心にとめて、いつも軽い気持ちで物事に向き合えるといいな～ユーモアをたのしみたいな～他人目線になって物事をみたいな～などいろいろヒントをもらえました。

○久方ぶりに「落語」を聴いて、師匠の話にどんどん惹きこまれていました。あっという間の楽しい時間に感じました。ありがとうございました。

○落語を今までと異なった観点で楽しむことができました。アナログの真髄に触れた心持ちです。元気になりました。ありがとうございました。

○子ども達との縁、保護者との縁、先生方、地域の方、関わる方との縁を大事に、そのひとときを大事に過ごしていきたいと思います。ありがとうございました。

○師匠のお話に引き込まれ、あっという間の時間でした。目の前の人を大切に、相手はどんな思いでいるか、どんな言葉をかけたら喜ぶか、など、先のことを考えながら日々のコミュニケーションをとっていく視点を新たに学びました。仕事においても子育てにおいても、すぐに答えを求めがちで、イライラすることもありますが、すぐに成果を求めず、ゆったりと、時々ボケも取りいれながら接していきたいと思いました。

○笑いの力だけでなく、人として、教職員として大切なことが沢山詰まったお話と講座でした。「出会いに照れるな」は、私自身大切にしていきたいと言葉になりました。ありがとうございました。

○落語は人とのコミュニケーションを大切にしていることが分かりました。コミュニケーションにおいて、人の考え方や見方をいろいろ考え、人と接することが大切であり、自分の考えだけでなく相手を思う気持ちがよりよいコミュニケーションを生むことが分かりました。ありがとうございました。

○前半のお話、大変勉強になりました。コミュニケーションとは、見方を変えて、他人目線で相手を思いやることだと再確認しました。日々の中で一歩立ち止まって考えることの重要性を改めて感じ、2学期に生かしていきたいと思います。後半の落語は面白さもありながら、本当に心を打たれました。対児童、対保護者、対同僚　相手のことを考えながら、自分も苦しくならないように分散して考えていきたいと思います。

○他人目線が落語の軸であることは非常に興味深く、落語をいろいろな言葉に置き換えると、腑に落ちることが多かったです。自分が「相手にとって」と考えることは、考えすぎかなと思うこともありましたが、自信をもっていいんだなと思いました。

○様々な話を聞けて面白かったです。

○夏季大学で落語は初めてかと思いますが、本物の落語をライブで見ることができ、充実した時間をえることができました。ブラックジョークもありましたが、コミュニケーションにおいての大事な所作、未来につながるボケのお話、具体的な事例も交えていただき、大変参考になりました。

○お話や落語に引き込まれ、あっという間の時間でした。人付き合いが億劫になってしまうことがありますが、今日のお話や落語を聞いて、出会う人やコミュニケーションを大切にしていくことで、人生も豊かになっていくのだろうな、と思いました。こちらから働きかけることもしていきたいと思います。とても楽しく、実りある時間をありがとうございました。

○自然と談慶師匠の話に吸い込まれてしまい、あっという間に時間が過ぎていきました。教職員として人前に立って話す機会が多い立場からすると、「こんな風に生徒や保護者が聞いてくれるような話、話し方をしたいなあ」と思いました。 相手目線に立ち、ボケとツッコミを交えながらコミュニケーションをとっていきたいと思いますが、思考の瞬発力が足りないので鍛えていきたいと思います。

○立川談慶さんの講演で印象に残ったのは「出会いに照れるな」という言葉でした。人との出会いや新しいことへの挑戦に対して、私はつい尻込みしてしまいがちですが、談慶さんは「照れ」や「遠慮」がチャンスを逃す原因になると語っていました。出会いは偶然ではなく意味があるもの。だからこそ恥ずかしがらず素直に向き合いなさいというメッセージに深く共感しました。これからは人との縁も、自分のやりたいことにも、照れずに一歩踏みこんで行きたいと思いました。

○飽きないで話を聞くことができた。やはり噺家ということもあり、聞いていてワクワクした。子どもたちに話をするときにも、真面目に一辺倒に話すだけでなく、ボケを交えて話すように意識したい。

○他人目線で、相手の立場になって考えてみることで見えてくることがたくさんあると感じました。今回のお話を聞き、目の前の人を大切にし、信頼関係を築いていくために自分ができることをいろんな視点で考えていきたいなと感じました。

○見方を変えるという、とてもシンプルですが大事なことだと改めて感じました。

○教師として子どもと関わる際に、間を大切にときにはボケたり突っ込んだりして子どもの背中を押していきたい。

○ボケが場を和ませることを学んだ。愛のある、温かいボケと笑いを大切にしていきたいと改めて感じた。

○他人の目線に立ってみるということを今後も忘れずにいたいです。

○教職の中にいるとなかなか教育以外の仕事をされている方と触れ合うことが少ないですが、今回、落語の世界に触れること、その考えを知ることができて良かったです。また笑いって本当に大事だし、いいなと思いました。私には笑いをとる腕はないけど、笑いの間を学ぶことはできるのかなと思いました。それを学校で活かせたら子どもたちにも楽しい学校の一部になれるのではないかと思いました。

○とかく自分本位になってしまいがちだが、他人目線を大事に、教育活動にあたっていきたい。

○良好な関係を築くために相手の思いにまずは寄り添って、相手を理解すること。相手に寄り添って、理解する。できなくても理解しようとする。その気持ちから生まれてくるセリフには相手の心に届く力が備わるのではないかと思います。「出会いに照れるな」の言葉は、今の私には「出会いにひるむな」に聞こえました。覚悟決めて、思いを込めて、関係をつくっていきます。

○とても楽しい講演でした。 出逢いに照れない、他人目線で、物事を考える、相手を鑑だと思え、分散力、鈍感力、決定力… 様々な大切なキーワードを教えていただきました。 ありがとうございました。

○今まで落語をしっかりと聞いたことがなかったですが、とても楽しかったです。子ども達だけでなく他人と関わるときには、想像力を働かせながら、他人目線を大切にしていきたいなと感じました。ありがとうございました。

○コミュニケーションとはその先を考えるもの、間や他人目線で想像力をもつことの大切さなどを楽しい噺の中に盛り込みながらお伝えいただけたあっという間に時間が過ぎました。

○子どもたちとのやり取りの中で、難しさを感じる場面がよくあります。今日の談慶師匠のお話をお聞きして、子どもたちの言葉に真正面から真面目に答えるばかりでなく、少し斜め上から笑いを交えたコミュニケーションも大切なのではないかと感じました。学校だけでなく、イライラしてしまうことがよくありますが、師匠のおっしゃるように、他人目線を意識しないもの考え方をしていたからなのかと感じました。すごく楽しい時間でした。

○落語という面白い話の中で、聴衆を引き込む話し方について非常に勉強になった。間のとり方はもちろん、話の構成や、聴衆をうまく期待させて落とすといった話術が大変参考になった。子どもたちの前で話をするときに、話を聞かせるのではなく、引き込めるような話をしていきたい。

○立川談慶師匠の話術はさすがでした。前半の講話では、「いい塩梅」「相手の目線に立つ」「他人目線」「発想の転換」と、なるほどと思うことばかりでした。後半の落語は、生で落語を見たことがなかったので、自分の世界が広がる大変貴重な機会でした。難解ではない、楽しく聴けて学びがある、大変良い夏季大学の講座だと思います。来年も是非立川談慶師匠のお話、落語をお聞きしたいです。

○落語がお聞きできてよかったです。様々な人間関係を構築していくうえで、他人目線をもって想像する大切さを感じました。ありがとうございました。

○あらためて自分の周りの人を大切にしていきたいと思いました。「出会いに照れるな」の言葉を少しの勇気を大事に実践していきたいと思いました。ありがとうございました。

○引き込まれる内容に、夢中で聞き入っていました。

○なかなか聞くことができない落語、とても楽しかったです

○まず、落語が素晴らしく感動しました。「出会いに照れるな」が心に響きました。 とかく自分目線、一点集中になりがちなので、見方を変える、他人目線を意識的にしてみることが大切だと感じました。ありがとうございました。

○ユーモアを忘れず日々子どもたちとかかわっていきたいと思いました。貴重な研修の機会をありがとうございました。

○落語を聞く機会があまりなかったので、講座にあり、楽しむことができました。

○冒頭の草彅剛さんとのエピソードに始まり、分散力、鈍感力、決定力など、落語のお題にあるお話やエピソードから伝えていただき、とてもわかりやすかったです。また、落語をしっかりとお聞かせいただけたことも、大変充実した講座だったなあと感じています。生きていくに当たって、笑いは大事にしたいと思いつつ、どうしても誰かを傷つけてしまうような笑いが多くなりがちです。今日教えていただいたことが、人生を明るく歩んでいくために大切なことと思います。

○ユーモアを交えた大変貴重なご講演、また落語をお聞かせいただきありがとうございました。

○コミュニケーションをとるとき、その先に未来を描けるかどうかが大切だとわかりました。 間と想像力、他人目線でみる、立ち位置が大事だと教えていただきました。分散力、鈍感力、決定力のお話から、相手の思っていることに敏感になって言ってほしい言葉を考えることが大切だと教えていただきました。 落語も面白かったです。これを機会にもっと落語を聴いてみたいと思いました。 ありがとうございました。

○談慶師匠の講演は、聞いていてとても面白くためになるお話ばかりでした。「見方を変えると笑いがある」というお言葉がとても心に残りました。見方を変えることは並大抵のことではないと思います。しかし、見方を変えることのできる器量を持つことで、子どもたちへの接し方を変えたり、自分の人生を豊かにしていくことができるのだと思いました。夏休み明けに実践していきたいと思います。

○他人目線で、相手に合わせた声がけをすることで、子どもたちや保護者との円滑な関係が築けることをあらためて感じることができた。

○落語の中にある，生き方の大切さ。きっといろいろな切り口があると思います。ぜひ来年度も講師をお願いしたいです。

○落語を通して、コミュニケーションについて考えることができました。また、研修というのを忘れてしまうくらい楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。 逆転の発想、人との間など、お聞きしたことを参考に教育現場に活かせたらと思います。

○コミュニケーションにおいて、「その先、未来」をみたくなるような話し方をしたいと思います。

○現代社会に対するするどいつっこみ、人間味あふれる語りや落語を楽しませていただきながら、自分とまわりの人との関係について考えさせられました。ありがとうございました。

○見方を変えると世界観が変わるなと思いました。落語の中にあるメッセージが奥深く、師匠の話に引き込まれました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。

○ツッコミよりボケを、というのが心に残りました。コミュニケーションに活かしていきたいです。

○普段、なかなか縁がない分野の話を聞くことができ満足しました。師匠が相当ご苦労されて真打になられたということが、芸ににじみ出ていたような気がします。談志さんの名言に「修業とは矛盾に耐えること」まさしくそうなんだろうなあと思いました。でもそれをどうプラスにとらえていくかの大切さを感じました。貴重なお話を聞くことができました。ありがとうございました。

○いつも楽しく聞いていた落語ですが、立川談慶師匠のお話を伺い、新たな見方に気づかせていただきました。分散力、鈍感力、決定力を磨いて、子どもたちにその先の未来を描く言動をしていきたいです。都合により、オンラインでの受講でしたが、会場でお聞きしたかったです。ありがとうございました。

○心が少し、軽くなりました。

○テンポの良い話し方に引き込まれました。

○ボケとツッコミ、このやりとりができる職場でよかったと思います。それをできる相手がたくさんいるともっと気持ちが楽になるのにと思いました。それにしても落語家さんはお話上手ですね、見習いたいと思います。

○年をとるとともに人との出会いが億劫になっています。傷つくことが怖くなっているのかもしれません。でも、本当は会ったら楽しかったり刺激をもらえたりすることもわかっています。いい塩梅の出会いやつきあいかたをして、少しでも自分自身の心が豊かになっていけたらいいなあと思う時間になりました。ありがとうございました。

○さすがの話術で、説教臭くないのにいいこと教えていただきました。有難うございました。

○たくさんの大切なキーワードがあったかと思いますが、特に視点を変えてみるということが心に残っています

○立川談慶師匠の巧みな話術に感銘しました。間の取り方のお手本でした。スピード感が素晴らしく、集中してお話を聞くことができました。「ぼけ」と「つっこみ」ができたら、子どもたちとも上手くコミュニケーションが取れそうです。「松山鑑」のお話から、相手目線で見ること、相手を鏡だと思うようにすれば、自己啓発できるようになるなど大変面白かったです。「出会いに照れるな」も感銘しました。

○人とコミュニケーションをとるときには、｢相手目線｣を忘れずにしていきたいと思った。子ども達が何を考えていて、どのようなことをしたいのかコミュニケーションを取りながら考えることでよりよい授業作りにつながるではないかと考えた。

○何気ないコミュニケーションでも目の前の方を想い、ご縁を大切に、できれば気の利いたボケとツッコミが言えるようになりたいと思いました。

○落語が、コミュニケーション力など人間力とつながるなんて、考えても見ませんでした。久しぶりに落語を楽しむことができました！

○オンラインではなく直接お聞きしてみたいと思いました。ありがとうございました。

○とても楽しい時間でした。落語を通して、コミュニケーションの取り方や大切さを学びました。他人の目線になって物事を考えたり、間を大事にして人と接してみたいと思います。

○引き込まれるお話、とても楽しく聞かせていただきました。ありがとうございました。

○コミュニケーションは、相手を想うことに対し敏感になること、ということが印象に残りました。 児童のことを想ってコミュニケーションをとっていきたいと思いました。

○自己啓発✖️落語噺はまさに新境地で、笑いながら心軽く学ぶことができました。分散力、鈍感力、決定力、間、他人目線など新しい視点から自分を振り返ることができました。これまでの、これからの出会いを大切にして生きていきたいと思いました。

○これからは発想の転換が大事だと思う。 おもしろいことは実はいたるところに転がっている。そんなことを考えた講座でした。

○最後まで興味深く聞けました。見方を変える、相手の立場に立つ、とても参考になりました。

○普段、慌ただしく過ごしている日常と離れたひと時を過ごさせていただきました。談慶師匠のお話をお聞きし、コミュニケーションをとる相手とのその先の未来を描ける、未来につながる関わり方を心がけていきたいと感じました。また、談慶師匠のお話の中で教えていただいた「今、目の前にある人を大切にしよう」「寒さの夏はおろおろ歩き」という言葉が印象に残りました。ありがとうございました。

○自分と他人の間に正解がある、というお話が心に残りました。

○講演の中でのキーワードはもちろん、師匠の話し方、間の取り方、テンポ感に感動しました。とてもいい講演でした。

○立川師匠の軽快なトークを楽しみながら教育に通ずるもの、活かせるものを見つけることができ、有意義な時間になりました。

○大変面白く、ためにもなるお話でした。眠くもならず、有意義な時間をいただけました。 間や分散力など、今後の生活や仕事に参考にしていきます。

○見方、発想を変えること、努めていきたいと思いました。

○コミュニケーションで大切なことを落語のお話と重ねて見るというのが新鮮でした。いろいろな落語を聞いてみたいと思いました。他人の目線を意識していきたいです。

○分散力などわかりやすくお話していただき大変勉強になりました 出会いに〜はほんとうにその通りだと感じ、これからも出会いに臆病にならないようにしたいです ありがとうございました。

○落語を聞く機会があまりないのですが、話術に引き込まれ、とても面白く聞かせていただき興味を持ちました。教育にもこういった話術が生かされるということが勉強になりました。

○見方を変えて、子どもや相手、誰かしらの気持ちに寄り添っていくこと、時には鈍感になっていくこと、など改めて大切なことを教えていただきました。肩の力を抜いて、楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。

○久々に聞く落語・・・人情味あふれる内容で面白かったです。

○落語は他人目線なのが特徴です。落語はコミュニケーションを凝縮しているので、教師と児童生徒 もあたたかく面白い関係が最高だと思いました。

○5人で一緒に参加しました。とても楽しく受講できました。少し気を楽にしてコミュニケーションをとっていけたらいいと感じました。

○コミュニケーションの楽しさを味わえた。実際の真剣なコミュニケーションにおいては難しいところがある。

○落語が好きなのでと手も楽しくお話を聞かせていただくことができました。 「出会いに照れるな」も心持ちが大事だなと感じました。 ありがとうございました。

○人とのかかわりや自分のふるまいなど大変大切であることあらためて知る機会となりました。

○教職員として、そして生きていくうえで大切なことを楽しく教えていただきました。上田高校、私の母校です。同校卒業生としてうれしく思いました。ご活躍を祈念いたします。ありがとうございました。

○他人目線で、見方を変えて（子ども達の目線で）見てみると、どう感じられるのか…といた立川談慶師匠のお話に引き込まれました。今置かれていること、起きてくることに夢中になり、そういった心のゆとりがない自分にも気づかされたように思います。「割り勘は『いい塩梅』」であること、2学期の職場にも広めたいと思いました。来年も聞きたいです。とっても楽しくて、肩の力が抜けるような素敵な時間をありがとうございました。

○ややおもしろかった。

○落語噺を聞きながらコミュニケーション力について学ばせていただきました。このご縁を大切に、また落語を聞きたくなりました。ありがとうございました。

○立川談慶師匠の講義を受講し、ユーモアを交えたお話は、思わずクスと笑ってしまうものもあり、話に引き込まれました。授業や児童に話すときに私もこんなふうにユーモアを交えてお話ができたらと思いました。また、子ども時代のお話の中にいつも落ち着きがないと言われていたというお話がありました。そのお話から一つの物事を他の角度から捉えてみることの大切さを改めて感じました。

○テンポの良いお話、楽しい落語で気持ちが明るくなりました。いい意味で気楽に生きていきたいな、と感じました。

○講演と落語ととても良い時間でした。相手の立場になって見方を変えてみることを実践していきたいと思います。

○大変面白かったです。立川師匠の話は、どれも本質をついていたように感じました。「間」の取り方が上手い人は、コミュニケーション能力が高いと思います。生徒、同僚、保護者の方との信頼関係づくりのヒントが、本日あったように感じました。また、落語の話の中で、「出会う」の大切さや価値についても学べました。大変貴重な講座をありがとうございました。

○他人目線という発想が大変勉強になりました。どちらかというとツッコミの立場になりがちな気がしていましたが、子どもの目線から考えて否定せずボケて返すというお考えがとても参考になりました。

○笑いは心を軽くします。面白かったです。

○私はこれまで落語をしっかりと聞く機会はなかったが、今回立川師匠の落語を聞かせていただいて落語の奥深さに触れることができたように思う。1人で何役も演じられる姿に引き込まれ、話に夢中になり、面白い中にも感動をいただいた。出会いを恥じずに、自分も子どもや周りの方々と向き合い、つながりを大切にしていきたい。

○相手の立場から見るということの大切さを感じました。特に鏡のお話をされたとき、子どもと向き合う自分の顔はどんな顔をしていただろうと自分を振り返るきっかけになりました。 また落語もとても楽しく、長尺の落語は観たことがありませんでした。笑いあり感動ありで、私も子どもの前で楽しい話をしたいと思いました。ありがとうございました。

○師匠から大切なことをたくさん教えていただくことができました 後半の落語は聞いていてとても楽しめました 本物にふれる大切さも感じました 素敵な講座をありがとうございました

○楽しい時間でした。出会いに照れるな　日本人らしいなぁと思いますが、勝手な他人目線で考えすぎます。人との関わりの中での教育現場です。その次を描けるコミュニケーションをとっていきたいと思いました。ありがとうございました。

○「子別れ」心から楽しいひと時となりました。泣けても来ました。今田先生の言葉のように、悩むことが多い現代社会ですが軽くなりました。これからの自己啓発に生かしていきたいと思いました。

○今の社会で働く1人として、必要な力について教えていただきありがたかったです。ですが、実際に生活に活かせるかどうかは、自分の気持ちにかかるところが大きいと感じます。また、職員集団としての在り方にも関係してきます。ストレスを抱え込まないための、気持ちの切り替え方やもち方について考えたいと思いました。

○とても楽しく、かつ深く考えられるいい時間を過ごさせていただきました。凝り固まった見方考え方から少しでも脱却できる２学期にしたいと思いました

○自然と引き込まれる話し手であり、楽しみながら落語も聞くことができた。逆転の発想で子どもと接したり、ボケとツッコミが大切である事まで聞けてよかった。来年もぜひ聞きたい。

○軽妙にリズムよくお話し頂きあっという間の時間でした。講演でお話頂いた分散力、鈍感力、決定力、他人目線、間、心に置きながら活かしていきたいと思います。だれかの言動に対して、ツッコむんじゃなくてボケること、というのも印象的でした。ありがとうございました。

○落語を聞く機会はなかなかないので、貴重な経験をさせていただきました。面白いお話を交えて、様々な人と関わる際に大切なことを学ぶことができました。ありがとうございました。

○落語を聞いていて研修になるなんて、こんないいことはないと思いました。10月の修学旅行で、子どもたちを浅草演芸ホールに連れていくので、どんな事前学習をしようかと楽しみになりました。

○落語がとても楽しかった。 来年もぜひ！

○最後の質問への回答で、「相互の信頼関係が大切」と話されたことが大変印象に残りました。学校と保護者、生徒と先生、先生と先生等々、すべての信頼関係が素敵な学校を作り上げていくのだと実感しました。しかしながら、談慶さんの軽快なしゃべりは素晴らしかったです。まさしく言葉の魔術師だと思いました。ありがとうございました。

○大変元気が湧いてくる講座でした。ありがとうございました。

○自分を見つめることそして相談する相手を見極めることがとても難しいと感じる自分であることがわかりました。そんなふうに感じている子どもたちもいるんだということを心においてこれから生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

○落語を楽しく聞かせていただきました。ありがとうございました。

○１回で終わらせない、未来をつなげるコミュニケーションのあり方について興味をもちました。相互の信頼関係と、見方を変えてポジティブに、ユーモラスに物事を捉える力を大切にしていきたいです。

○落語を交えての講演で楽しく聞くことができた。すぐに実践できる内容については、2学期から使っていきたい。

○一流の方はどんな職業でもはやり一流だなと感じました。自らを高めていくために人とのコミュニケーションを大切にし，自分から人と出会ってくことの大切さを感じました。分散力，鈍感力，決定力を意識していきたいと思います。

○今日のお話の中で、見方を変えるということが大事だと言うことを再認識しました。毎日子どもたちと過ごしていますが、子ども目線で考えることを意識したいと思います。また、「出会いに照れるな」という言葉がとても印象に残りました。ご縁を大切にしたいと思います。子どもたちも、本物の落語を聞く機会があれば素晴らしいと思いました。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。

○語りに引き込まれました。子どもに退屈させない話し方を身に着けなければと強く思いました。

○とても楽しい講座でした。ありがとうございました。他人目線になる　相手を鏡だと思うというお話、子どもたちと対するときも大切だなと思いながらお聞きしました。自分は正しいと思ってしまうことが多いので、相手目線でなんて言ってほしいのか考えたり、まずは、自分はどうなのか自分の行動を振り返ったりしたいと思いました。ありがとうございました。

○「出会いに照れるな」という言葉、身に沁みました。４０代後半から、「面倒」と思うことが多くなってきた気がします。すべての出会いは「運命で仕組まれている」から、大切にするべきというお言葉が、心にしみました。 また、「逆転の発想」で新学期、子どもたちと楽しく向き合っていきたいと思います。

○古典芸能の落語を嗜むという枠を大きく超えて，考え方や人との接し方まで学ぶことができたとてもよい講座でした。師匠の愛のある語りに，時間を忘れて聞き入ってしまいました。

○談慶師匠の話芸を堪能させていただきました。

○ご講演はもちろんのこと、落語の実演から間や聞き手の目線など、学んだり実感したりすることが多くありました。

○落語も交えながらご講演を聞き、あっという間に時間が過ぎてしまった印象でした。今回のご講演の中で、他人目線や見方を変えるという言葉が印象に残りました。担任をしていると、生徒の言動にイライラすることもあるのですが、ちょっと見方を変えるだけでその生徒の内面が理解でき、自分の心も軽くなるのだと感じました。今後も今回のお話を振り返りながら生徒と関わっていきたいと思いました。

○談慶師匠、そして落語から学ぶことがたくさんありました。「出会いに照れるな」いい言葉だと思いました。これからもご縁を大事にしながら、ゴールの見えてきた教員生活をもっと楽しみながら過ごしていきたいと思います。

○師匠のご経験から語られるコミュニケーション力は、学校教育現場での、職員間、また児童生徒との関係性づくりの中でも大事な力だと感じました。話を広げる話術、これから大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。

○力の抜き方を教わったように思います。 自分のことばかりでなく、他人目線でいることで、子ども理解はじめ相手理解が深まりそうです。

○周囲の人にユーモアをもって接したい。ユーモアが通じるように、普段から心を配り、自分からコミュニケーションをとれるようにしたい。

○大変興味深いお話をお聞きできありがたかったです。特にあいさつはルールでなくコミュニケーションというところがとても共感できました。お互いを思いやる大切さについて改めて気付かせて頂きました。

○昔から現代まで語り継がれている古典落語の中には、楽しく生きていくためのヒントや生き方について考えさせられる要素が多く含まれていて、とても興味深く聞かせて頂きました。特に「鈍感力」についてのお話が非常に印象的で、落語の登場人物のように周囲のプレッシャーを上手く受け流す力は、今を生きる現代人にはとても重要だと感じました。

○鈍感力、割り勘力、決定力　相反する言葉のようですが 根元はしっかりと繋がっているのだな、と大変勉強になりました 楽しい午後のひと時でした　ありがとうございました

○立川談慶さんの、お話は本当に面白くて、でも自分はどうかな…と、考えさせられることばかりのお話でした。 私は特に、前半でお話してくださった「松山鏡」の話から、「みなさんは、鏡じゃなくて自分のネクタイを直すでしょ？」と言われた時、ハッとしました。自分の家族や学校の児童、職場の仲間の立場に考えてものを言ったり、行動したりしているかな？と、立ち止まって考えることができました。本当にありがとうございました。

○師匠はお一人なのに、複数の人間が見えてくる。登場人物を理解し、それを観る人の気持ちを想像することに到達する境地だと思います。そう考えたら、落語が今の世の中を救うのかもしれません。ありがとうございました。

○経験を重ねるごとに、自分のやり方に自信を持てるようになる一方で、そこに固執してしまう面もあるなと感じていました。私たちの仕事には、コミュニケーション力が欠かせません。目の前にいる子どもたち、保護者、仲間の教職員の思いを想像し、他人目線を大切にした関わりができるスキルを磨いていきたいと思いました。落語を観るのが初めてでしたが、とても面白く、深い世界だなと感じました。ありがとうございました。

○座席を倒していいか聞かれて「後ろでも横でも」というような言い返しに憧れます。普及させていきたいと思いました。「子別れ」も聞けて良かったです。

○今回のお話のような観点から落語を考えたことがなかったので、教えていただいた演目はもちろん、これからはいろいろ考えながら落語を観ようと思います。

○談慶師匠の軽妙な語りを聞きながら、ちょっと見方を変えたり広げたりして、悩みを軽くできたような気がします。ありがとうございました。

○他人目線で考えるというところが大変勉強になりました。落語を聞いてぼけとつっこみを勉強したいと思います。

○笑いやユーモアは、他人目線、相手を思う気持ちが必要であること、独りよがりでは、相手との良好なコミュニケーションにつながらないことを学びました。

○落語をされる方の話を聞いていて思うのですが、話が切れることがないし、句点がないなあと感じました。話の隙を与えない感じがすごいと思いますが、話し疲れないのかとも思いました。

○落語、引き込まれるように聞き入ってしまいました。 とても素晴らしかったです。 私は話をすることが本当に苦手で、上手なことも、感動させることも、相手の心に響くようなことも言えませんが、私の教室には、いろいろな子どもたちがやってきて話をして帰っていきます。 しっかり話を聞いて、想像力を働かせて、相手が言ってほしい言葉を考えて声を掛けてあげたいです。また相手を否定せず、寄り添う姿勢を大事にしたいです

○あっという間に時間が過ぎました。お話しされたことのすべてに、気が利く・気をはたらかせる、ことにつながっていると思いました。気の利いた言葉が、なんだか職場から減ったように感じるようになりました。 講演と落語の二本立て、そのつながり、質疑もたいへん興味深かったです。来年度も引き続き、講座をお願いしたいです。

○大変面白くてためになる講義、落語でした。「他人目線」という言葉は、教師をやっている身からするととても考えさせられるもので、どれだけ児童目線に立てているのか改めて考えることができました。また私は、ツッコミの多い指導が目立つと感じます。つっこむだけでなくもっとボケて子どもたちに寄り添う指導をしていきたいと思いました。 本日はありがとうございました。

○決定力のお話で、こう言えばこの人は喜んでくれるのではと考えてコミュニケーションをすることを心がけていきたいと思いました。

○落語に余りかかわったことがなかったので、このような機会があってとても楽しかったです、

○高い壁がない時代に、大事なのは相手との信頼関係であると言う話がよかったです。相手を壁として、乗り越えるよりも手を取り合って登って行く時代だと言う話でしたが、相手を否定しないと言うことは、どの時代でも同じだと感じました。

○夏季大学で、談慶師匠のお話を伺えて、本当にありがたく感じました。問いと創造力を大事にしながら、他者目線に立って想いを巡らせ、未来を描けるようにしていきたいと思います。

○落語を普段聞かないので、とても良い体験ができました。落語の話し方は、テンポよく、聞いている側も引き込まれました。師匠が話していた、信頼関係は対児童だったり、保護者だったり、同僚だったりとても大切だなと感じました。その信頼関係を築くためにも、相手を否定しない受け入れることの大切さを教えていただきました。また、落語の題材でもあった出会いを恥じるなという言葉、身に沁みました。ありがとうございました。

○普段なかなか聴くことができないので、とても良かったです。楽しかったです。

○コミュニケーションにおける他人目線に立って、相手との間に想像力を働かせることの重要性を、落語の演目やユーモアを交えたお話から学ばせていただきました。落語を楽しめる、忖度ができる大人として、子どもたちとの関わりの中で何か一つでも心に残る言葉をかけてあげられたらと思います。

○談慶師匠の話術に引き込まれ、あっという間の時間でした。９年半の前座時代があり、大変だったとおっしゃっていましたが、その苦労が今日のお話や落語に通じているのでは、と感じました。学校で子どもや保護者と接していると、すぐに答えが出ないことばかりですが、相手の目線に立って物事を考えていきたいと感じました。今日はありがとうございました。

○落語を通しての自己啓発という今までにない講座が大変新鮮で考えることや発見が多い時間となりました。話し手のプロからまさに教員は話術を学ぶべきだと感じました。相手とその先の未来を共有できるコミュニケーションを大事にしていきたい。

○相手への伝え方は、会話のうまさではないこと。相手目線を使って、相手が求めている思いを言葉にしてみることを改めて考えさせられました。何でも見方を変えてみると思いも変わるのではないかと思います。自分の思いをストレートに伝えることも重要かもしれませんが、相手の思いを否定せずに受容して見方を変えて伝えてみることを、今後も考えてみたいと感じました。自分を振り返ってみるよい時間となりました。

○落語を生で聞くことができて、とても楽しいひと時でした。コミュニケーションの大切さを、落語を通して学ぶことができ、有意義な夏季大学の時間となりました。こういう講座があると、若い人たちにも、もっと広めやすいかなと思います。夏休みの時間が楽しくなる講座を開いていただきありがとうございました。

○とても楽しく聴くことができました。落語をもっと聞きたかったです。

○コミュニケーションのとり方や、逆転の発想などもっと自由に楽しく仕事していいんだと心が軽くなりました。ありがとうございました。

○私も落語をじっくりと拝見するのは初めてでしたので、立川師匠の話術に圧倒され、ジワッと感動を覚える場面もありました。これも日頃からの鍛錬の成果なのかな、と感じました。「分散力」「鈍感力」「決定力」どれも大切な力だと思いますが、まだまだ自分には足りていない部分があるように感じましたので、少しずつでも高めていきたいと思いました。ありがとうございました。

○「出会いに照れるな」「ご縁を大切に」は自分も年を重ねてから、大事にしていることですし、今頃になって、これまでのご縁のおかげで今の自分があることをひしひしと感じています。あの時、なぜ照れていなのか、なぜ1歩が踏み出せなかったのかと若い頃の自分に言ってあげたい気持ちです。その経験を、今目の前にいる子どもたちの応援者として、大丈夫だよ、やってみようと言える教師でいたいと改めて感じました。

○教師はとかくまじめすぎると言われる。「鈍感力」という言葉を師匠は使っていたが、「遊び」「余白」も時には必要だと思う。教師のまじめさが子どもや同僚を追い込むこともある。師匠の話からはいろいろと考えさせられたが、よい時間だった。

○落語でホッとひと息つくことができ、有意義な時間となりました。

○今回のように楽しいお話を子どもたちの前で毎日することができたら、どんなに伸び伸びと明るい学校生活になるだろうと感じました。「見方を変える」ということを、自分が悩んだり困ったりした時はもちろん、子どもたちがそのような状況の時に思い出して、手を差し伸べられたらと思います。

○午後の心地よいひと時となりました。ありがとうございました。

○私たち教員の言葉は，子どもたちにとって大きいものだと感じています。だからこそ，今日の講義の中で話題の一つであった「寄り添う」ということが大切であるとあらためて考える時間になりました。

○その先につながることを考えたコミュニケーション、他人目線で、ということを考えながら周りの人とかかわってみたいと思いました。周りの人に、意識していると思われない会話術を身につけたいと思います。

○ありがとうございました。会場で聞くことができず残念でした。芸は、リアルで見れたら、より深く受け止められたものと感じています。「出会いに照れるな」の言葉、大事にします。

○その先や未来を描けるコミュニケーションを大切にしたい。そのために、他人目線に立って、分散力、鈍感力、決定力を働かせることを意識して、できることから取り組んでみたいと感じた。

○「他人目線で考える」、振り返ってみれば、心がけているつもりでも特に家族に対してつい押し付けてしまうことがあると思ったので気を付けたいと思いました。落語をしっかり聞いたことが今までありませんでしたが、非常に楽しく聞かせていただきました。

○日本の文化（他者意識、奥ゆかしさなど）ってやっぱり大事にしたいものだなぁとあらためて思いました。昔と今は違うということもたくさんありますが、昔から大事にしてきたものが自然と私達の暮らしの中に残っているというものも再発見してみたいと思える講座でした。

○落語の奥深さを感じながらお聞きし、自分に重ねて様々なことを考えることができました。夏休みだからこその贅沢な時間でした。コミュニケーションは会話のうまさでなく、相手が何を求めているのかを推し量り、それに対して自分の最大限の返しをすること、そして答えは常に自分と相手の間にあることを考えました。自分と相手の間のどこに答えがあるのかを考えられる自分でいたいと思います。夏休み、落語を聞いてみようと思います。

○芸能分野から「落語」を取り上げていただき、良い機会になりました。ありがとうございました。

○相手を陥れたり、論破したりすることが持て囃されている昨今ですが、談慶師匠の、『相手を否定しない』『人に寄り添う』というお話が心に残りました。子どもたちと信頼関係を構築するために、改めて大事にしていきたいと思いました。

○自分の生き方にとても参考になり、この後の言動に光が差している気になっています。できるかわからないけれど、人との出会いに感謝し、多様な見方をしながら相手を思う想像力を働かせ、自分に向き合ってくれている人と接したい、人を大切にして生きていきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

○本物の落語に触れることができ、満足です。

○初めて落語を落ち着いて聞きました。関心の思いが強く、内容についてよく考えるまもなく終わってしまいましたが、一教員として保護者と子ども、地域の方と子ども、また子ども同士をつなぐかすがいになっていきたいとおもいます。 また、見方を変えることも教員として非常に大切なことです。自分だけの物差し、見方で考えすぎずにやっていきたいと感じました。

○分散力・鈍感力・決定力の大切さを面白いお話を交えながらお話しいただき、とても分かりやすく、大切にしていきたいなと思いました。落語を初めて聞き、面白さにも気づくことができました。ありがとうございました。

○落語楽しみにしてました。夏休みにホッと一息つける素敵な時間をありがとうございました。

○話のプロの方ということで、テーマごとの納得感がとてもあり楽しく聞くことができました。日頃から児童に寄り添うことを意識しているわけですが、その子の持っている裏側、もっと深いところを感じるようにしたいと思いました。

○子どもとのコミュニケーションも、教師が分散力、鈍感力、決定力で対応すれば、子どもも安心して話ができるだろうなと思いました。落語をしっかり見聞きでき楽しかったです。出会いに照れるな　の言葉を大切にしていきたい。

○とてもよかったです。

○コミュニケーションはその先の未来をつくること、他者目線に立つこと、大変勉強になりました。ありがとうございました。

○談慶師匠のお話をお聞きし、心が軽くなりました。特に、鈍感力でした。今の世の中、いろいろなことがありすぎて、考えすぎてしまうこと、悩みすぎてしまうことが多いと感じています。いろいろな問題に少し鈍感になり、また他人目線を持ってどのように切り返したらよいのか、考えていきたいと思いました。軽妙な語り口でのご講演や落語に、時間を忘れて聞き入ることができました。ありがとうございました。

○日頃の物言いを、反省しました。頭の中にすぐ浮かぶのは、『ツッコミ』であり、相手への否定です。否定とまで認知していませんでした。反省です。これからは、『ボケ』を意識して話をするよう脳みそを使っていきたいと思います。大変為になるお話をありがとうございました。

○「出会いに照れるな」というメッセージがとても強く残りました。

○ボケとツッコミは大事です。他人目線もとっても大事です。面白いお話ありがとうございました。

○「出会いに照れるな」というメッセージは、私生活においても教育現場においてもとても納得のいくアドバイスとなりました。久しぶりに生の落語を聞き、改めて人情を感じる話ぶりの良さを感じることができ、幸せな時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

○先日、個別懇談がありました。とても話しやすい方と話が弾まない方と両方いました。「話しづらいな…」そう感じる自分には、保護者がどんな気持ちでいるのか想像することに欠けていたのかもしれないと思いました。私自身は、学級で困ったことがあると、年甲斐もなく大騒ぎをして同僚と共有してしまいます。それが「分散力」ということなのか？でも、それが自分の気持ちを楽にすることにつながっています。

○視点、立場を変えてみる。大切だなと思った

○立川さんの講座ありがとうございました。

○普段聞くことのない落語、面白かったです。ありがとうございました。

○落語と教育、一見関係がなさそうな分野ですが、今回の講座では、クラスの子どもたちの顔が自然と思いうかぶひとときとなりました。子どもとの信頼関係を確かめ、時にはボケて、今すぐ答えを出そうとせず、間をとることも大切なのだと改めて考えさせられました。落語は、聞き手との間に忖度があるということをお聞きし、子どもたちと教員の間にも、暗黙の忖度があるのではないかと思いました。

○発想を転換して、コミュニケーションを円滑に、楽しくとりたいと思いました。

○是非参加したい講座でした。話のプロはどんなことを考えて人の心をつかむのか学び甲斐がありました。我々に伝えたいことをエピソードや落語と関連付けてお話していただいたのでとてもわかりやすかったです。分散力・鈍感力・決定力　すぐにはできないかもしれませんが、意識して話術に取り入れてみたいと思います。来年もお願いしたいです。ありがとうございました。

○違う見方は大事だなぁと思いました。

○初めて落語を聴かせていただきました。ちょっと泣ける、結局笑える、素敵な一席でした。出会いに照れず、大切にしていきたいと思います。

○相手のことを考えることの大切さを再確認しました。児童にそれをどう伝えたらいいか、また考えていきたいと思います。

○空気を読む力、わからないことを抱え込む力など、ここぞという時に自分を俯瞰できる人こそできると思いました。自分の価値基準がないと、笑いも生み出せないとも感じました。

○数分に1回は笑いがあり、それでいて考えさせられることも多く、時間がたつのが早かったです。 受講してよかったと思います。

○子どもを前にしたとき、間を大事にして向き合っていきたいと思いました。講演、落語、とても楽しかったです。

○落語を楽しむだけでなく、落語を通して、いろいろなことを教えていただきました。分散力、鈍感力、決定力、心に残りました。教師としても、人としても、心にとめておきたいと思います。

○コミュニケーションは教職にかかわらず、とても大切な力であると思う。今日の話から自らのコミュニケーション能力の向上を目指していくことはもちろん、児童が上手にコミュニケーションを図れる手助けをしてあげたいと感じた。

○昨年度は他地区の夏季大学でご講演をお聴きしましたが、落語が人とのつながり方、関わり方を考えさせられる芸能だと改めて感じさせられました。同僚とまた児童生徒とどのように関係を作っていけるか、本日のお話を参考に実践していきたいと思います。

○歳をとってくると人との付き合いが煩わしくなってくるが、「出会いに照れぬな」との言葉が胸にスッと落ちました。楽しく考えさせられた時間でした。

○まず、生の落語を聞かせていただき「笑い」はいいな、大切だなと再認識できた時間でした。オチやツッコミとボケといった落語の構成を日常生活に取り入れ、逆転の発想を自分の標準的思考に落とし込み、相手に対しても、そして自分自身に対してもプラス思考で日常を過ごしていきたいと思いました。

○「出会いに照れるな」というお話で、落語もお聴きできて大変貴重な時間を過ごさせていただきました。発想の転換で、相手を思いやりながらユーモアを交えてコミュニケーションができるといいなと思いました。ありがとうございました。

○「鈍感力」良くも悪くも今の時代に大切だと思いました。「ま、いいか」と自分に対するものを受け流したり、相手を受け入れたりと、児童同士も大切ですが、自分と児童との関係でもこの感覚は大事にしたいと思いました。あとどれだけの子どもたちや保護者職員との出会いがあるかわかりませんが、出会いに照れず前向きに楽しみたいと思いました。

○本日は誠にありがとうございました。講演をお聞きし、人との出会いを大切にすること、そして、コミュニケーションにおいて互いの信頼関係を築くことの大切さを実感し、子どもたちや職場の先生方に当てはめても同じことがいえると感じました。教えていただいたことを今後の関わりに生かしていきたいと思います。落語も大変面白かったです。ありがとうございました。

○歳を重ねるごとに考え方が固まってきがちですが、他人目線相手目線に立つことの大切さを教えていただきました。ユーモアをもち、目の前の出会いや結びつきを大事にして行きたいと思います。

○落語と教育に共通する間や想像力の大切さを改めて実感しました。聞き手の想像にゆだねる話し方や、間をいかすことで生まれる伝わりやすさは、日々の授業にも活かせると感じました。子どもたちの心に届くような言葉の選び方や話し方を、これからも意識していきたいです。

○落語を聞ける講座という新しい試みで、面白かったです。オンラインで参加してみましたが、やはり落語は、生で聞くのが一番だろうなあということは感じました。でも、オンラインで参加しやすくしていただいた点は大変感謝しております。 人との「間」や「出会いに照れない」など、これからの、仕事を離れた時の自分と人との関わりについて考えさせられました。

○テンポ・リズム・知識・知性・心ある話術から子どもの興味関心を導きつける教師の魅力向上の必要性を感じました。来年も是非視聴したいです。

○他人目線　見え方の違い　忖度　相手を鏡と思う 日々、生徒、保護者を相手に、コミュニケーションを取ることが仕事となる私達にとって、談慶師匠のお話は、とても示唆に富むものでした。 ありがとうございました。

○久しぶりに落語を聴きこのような時間を作る大切さを実感しました

○談慶師匠のお話をお聞きできて、本当に楽しかったです。師匠のお話を聞いて、視点を変える、発想を変える、楽しんでみることの大切さを感じました。とても元気になりました。ぜひ、来年もお願いいしたいです。

○落ち着きがなかった幼少期の師匠に言った隣のクラスの先生のことばがとても心に響きました。いろいろな子どもがいますが、その姿をプラスに言い換えていきたいと感じました。ありがとうございました。

○「自分が言ってほしいことを言う」＝コミュニケーションの目的　と言う言葉が心に残りました。子どもに対するとき、つい上から目線になり、自分が言われたくない言葉を投げかけていたことに気づき、反省をしました。

○とてもおもしろかったです。

○笑いあり，考えさせられることありの大変面白い講座であっという間に時間が過ぎていました。 児童の支援・指導で日々なかなかうまくいかないことが多く，悩み多い1学期でした。 今日の高座を拝聴して，ボケとしても笑いやアクセルと，ツッコミとしてのブレーキをうまく組み合わせれば楽しいかも，と少し楽な気持ちになりました。笑いの中にも厳しさのある2学期にしていきたいと思いました。

○人との関わりが多い仕事ですが、やっぱり基本はコミュニケーションの力が大切なんだと改めて思いました。

○落語を通して、コミュニケーションの見方を教えてくださり、とても楽しかったです。時間や空間の間について、クラスの子どもたちや家族、考えながら生活していきたいと思います。うまくいかないとき、鏡の前で身だしなみを整えるように、自分を変え、相手の立場に立ち、違う見方で関わってみたいと思います。

○キーワードだけでなく、「何か大きな力による導きだろうから」出逢いに照れるな、や最後の質問に対しての「そういう子どもたちの見方により寄り添う、立つ人に子どもたちもシンパシーを感じる」も心に残りました。あと落語の技で糸巻きの糸の動きに昔を思い出しました。絶妙すぎて感動しました。ありがとうございました。

○立川談慶師匠のお話を通して、コミュニケーションという目線から教師の仕事に通じるものを多く感じました。学校という現場において、教師と生徒という立場で授業を行ったり生徒指導を行ったりしているが、その基盤は人対人のコミュニケーションにあります。今日の講義の中で改めてその大切さを学ぶことができました。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

○信頼関係をたしかめる、事が大切だと言う言葉が印象に残りました。可能性を否定しないよう、対話して行きたい。

○落語がとても面白かったです。あっという間でした。出会いを大切にしたいです。

○こういう落語についてや、本を実際に購入していた方の講座だったので学びになりました。

○講師の話がとても楽しく聞かせていただきました。

○素晴らしいご講演ありがとうございます。ご師匠のご経験と、色々な場所に足を運び培われた、輝かしい人間性に感動いたしました。早速即実践したいと思います。感謝いたします。

○コミュニケーションを高めていくために、間と相手目線にたつことの大切さを落語を交えて教えていただきました。子どもたちや同僚とも、ボケとツッコミのような信頼関係を築けるように相手の欲している言葉を考えて対話を重ねていきたいと感じました。ありがとうございました。

○初めての落語でした。感想の中で述べていらっしゃる方もいらっしゃいましたが、とてもおもしろい！わかりやすい！といった感想はもちろん、「感動！！」という思いがとても強かったです。そこにそうつながるのか、なるほどそういう落ちか…など、心にすとんと落ちるような話の落とし方、噺に終始わくわくし、あっというまの講座の時間でした。もっともっといろいろな噺を聞いてみたくなりました。ありがとうございました。

【参集者】

○講演は分かりやすかった。もっと自分を高められそうだと思った。落語「子別れ」は現代だからこその風刺も面白く途中で涙腺が危なかった。

○流れるようなお話し最高でした。内容も博識･経験から来る話がよかったです。

○目の前で落語を聞けてとても楽しかったです。コミュニケーションについてもいろいろな視点を知ることができてよかったです。

○落語家さんを講師にと希望しておりました。大満足の講座となりました。ありがとうございました。

○周りとのコンタクトの取り方が認識できて面白く伺いました。

○分散力･鈍感力･決定力→他人目線がコミュニケーションにつながること、自分だけでなく他人目線になることがとても心に残りました。生で落語を聞くことができて本当によい機会でした。ありがとうございました。

○短い間に要点を分かりやすくお話しいただけた。落語というものは最後の落ちまで話が見事に構成されている。授業に生かせるものもあるかと思う。

○心に刺さるキーワードがたくさんでした。出会いに照れている毎日、ちょっと勇気を出してご縁を大切にこれから歩んでいきたいです。

○分散力･鈍感力･決定力とても勉強になりました。聞いているだけで元気になりました。

○学びつつも心が癒やされる最高の時間でした。談慶師匠の落語とお人柄に魅せられながら、子どもたちとの未来、その先を想像することができました。オンラインも悩みましたが、来させて頂いて本当によかったなと心から思います。ありがとうございました。

○落語の題目を例に用いてお話しいただいたおかげでコミュニケーション能力を高めるためにどんな考え方が必要なのかを具体的に知ることができました。理解しやすい講座でした。また、生の落語を拝聴することができてすごく得した気分です。

○久々に心から笑えました。初めての試み、大正解！

○落語を通したコミュニケーション力とても新鮮でそれでいて分かりやすくすーっと胸に落ちました。楽しみながらコミュニケーション力を高めていきたいと思いました。師匠のお噺とても楽しかったです。発想の転換参考になりました。「碁盤斬り」拝見致しました。「草彅くんの･･･」とつけていただけるとすぐにわかるかも知れません。

○コミュニケーションの難しい時代ですが、笑いがとれるような、見ず知らずの人とも出会いを気持ちよいものにしたい。

○楽しく聞かせていただきました。

○本を読むときも、分散力・鈍感力・決定力を用いて「なぜ著者がこの言葉を使おうと思ったのか考えてみる」という視点が新鮮でした。難しいからいいやとあきらめていた本にもう一度手を伸ばしてみようかなと思えました.ありがとうございました。

○落語のお話し･講義もとても楽しくてよかったです。

○コミュニケーションとは、その先･未来を描くこと、とても心に響きました。想像力を働かせて、間合いを取って、コミュニケーションを取っていきたいと思います。互いに手を取り合って山を登る、高め合っていく時代、それならば可能性を信じられると思いました。カリスマや強いリーダーシップの待望はいらないと思えました。

○見方を変えると同じことでも見えるものが違うことを大事にしたいと思いました。与太郎のような柔らかさを持ちながらいろいろなことを面白がって生きたいと思います。「心配するな、俺も一緒だ」というスタンスを大事にしたいと思います。「言葉に魂を込める」という言葉も心に残りました。

○師匠の「間の使い方」に圧倒されました。コミュニケーションの真髄だと思います。

○お話が面白かった。

○教員ではありませんが、子どもとの関わり方などに今回のお話を参考にさせていただきたいと思います。面白かったです。

○生の講座を聞けてよかった。高い壁に戸惑う子や反発する子、いろいろな子がいますが（親も）そんな子どもたちとの生活を楽しみながら教育に当たっていきたいと思いました。落語のボケやツッコミを取り入れたいのでYouTubeで今日から学びます。

○素敵なお話をありがとうございました。他人目線、間を埋めるという言葉が印象的でした。5才の息子が落語絵本にはまっていて毎日読み聞かせをしています。息子にも他人目線が育つといいなと思いました。

○大変楽しく、落語の奥深さと談慶師匠の人間としての温かさやユーモア、見識の深さを感じとても勉強になりました。

【運営面】

○「初めての◯◯」今回は落語でしたが、今後も新しい出会いができるような講座を開設していただきたいと思います。準備や運営本当にお疲れ様でした。

○落語をこのように見たことがなかったので、大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

○実際に落語を聞くということ、とてもよかったです。

○オンラインで参加させていただきましたが、その場にいるかのように学ぶことができました。運営ありがとうございます。

○毎年オンラインで参加をしていますが、ここ数年、参集でお聞きしたい内容が多いように感じます。講師選定や準備、運営等、ありがとうございます。

○貴重な場をご提供いただきありがとうございました。

○準備、運営等、ご苦労様でした。ありがとうございました。

○落語を聞く機会がないため、このような講座を用意して頂いてとてもありがたい。大変良い機会となった。

○日々の中でホッとでき、くすっとできる時間をありがとうございました。後半の落語は本当に感動し、児童をたくさん応援しよう‼と前向きになれました。来年もぜひ参加したいです。お忙しい中、興味深い内容の講座を考えていただきありがとうございます。

○素晴らしい講座をありがとうございました。

○魅力的な講座をありがとうございました。

○ありがとうございました。花束贈呈の演出は子どもでなくていいかと思いました。

○会場とオンラインのハイブリッド開催ということで参加しやすい形の講座で、素敵なお話を聞くことができ、満足しています。ありがとうございました。

○オンラインでも落語がはっきり聞こえてよかったです。

○zoomでの研修、参加しやすくとても良かったです。

○Zoom参加、気軽に参加できとてもありがたいです

○素敵な講師を招いていただきありがとうございました。

○zoomで受講できるのがありがたいです。

○地元の落語家を知る機会となり良かったです。

○様々な側面から「学び」を考えていこうとされている貴教育会の取り組みに感銘いたします。 ただ、“教育”と結びつけようとされていすぎかな？と思いました。

○大変見やすく、講義内容、スケジュール関係も、大変よいと思いました。

○オンラインでも十分に話が伝わってきました。ご準備いただいた役員の皆さま，お疲れ様でした。有意義な時間でした。

○聞き取りづらいこともなく、会場の雰囲気も感じることができ、充実した研修となりました。

○高座の準備等、大変だったかと思いますが、とても素敵な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

○貴重な講座をありがとうございました。

○夏季大学を通して色々と学ぶことは大切だと思いますが、その中に楽しさがあると、参加者が多くなると思います。ぜひ、また来年も立川師匠をお願いしたいです。

○ありがとうございました。

○今日の講義は「ビデオオン」ということでしたが，案内の中では「ビデオオフ」となっています。オンになった経緯はどういったことだったのでしょうか。

○スムーズにズーム視聴ができましたし、このアンケートも退出と同時に出てきて楽でした。（よくあるのが、別口でGoogleフォームにアクセスして…なので。）

○音声も聞き取りやすく、映像も見やすかったです。

○新しい分野の講座開設、大変だったかと思いますが、感謝です。ありがとうございます。

○オンラインの受講ができるのは、ありがたいです。

○zoomで参加できることや楽しい講座をご準備いただいていることに感謝です。

○全員参集の講座しかなかった時は、自宅が遠方にあるので１講座しか選択しませんでしたが、オンラインもあり、参加しやすくなりました。小さいお子さんがいる職員も参加しやすくなったと思います。

○夏休みのzoom研修は、子育てや介護などある家庭の事情がある者にとってとてもありがたい。

○会場での観覧者はもっとしっかりリアクションをとってあげないと講師に失礼だと感じました。

○伝統でもある落語ですが、今までしっかり味わった事がなかったので、とてもいい機会となりました。ぜひ、今後もこういったお話をお聞きしたいです。 別講座ですが、第9講座は、大勢で抽選になってしまったので、ぜひ、来年は午前、午後だとか、別日にも行なっていただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

○興味深い講座をありがとうございます。

○講師の選定からオンライン配信までありがとうございました。

○貴重なご講演ありがとうございます。

○よい先生を呼んでいてよかった。これからも続けてほしい。

○講師がお話をして下さっているとき、打合せをその場でしない方がよいと思いました。例えば廊下に出て筆談で済ませるなど講演のマナーを守っていただきたいです。

○落語らしい会場設定が雰囲気があってよかったです。やっぱり生で直接お聞きできてよかったです。

○手元に資料があり、書き込みもしたい事情からここに机のあるようにしていただきたかったです。

○午前の第1講座と午後の第2講座を2つとも参加しましたが、お昼を食べられるような自由に休憩が取れる場所があるとよかったと思いました。

○大岡中　職場でみんなで聞いているとのこと、楽しい受講スタイルだと思いました。そういう参加の仕方も学びも共有できたり、職場のコミュニケーションも図れていいと思います。

○落語の声を拾うにあたり、マイクだと聞こえにくいところがありもったいないと思いました。

【来年度への要望】

○来年も落語お聞きしてみたいです

○オーケストラや歌手の方の音楽を聴いたり、自分が演奏する側になってみたい。

○黒川伊保子さん、柴田愛子さん、ヨシタケシンスケさん、養老孟司さん、池谷裕二さん

○今回のようにその道を究めた人の話を聞ける機会を夏季大学で取り入れていってほしいと今後も願います。

○また落語をききたいです。

○今回のような講座、ぜひ来年も受講してみたいです。

○和田裕美　ご検討ください。

○次年度もぜひ師匠の講義を拝聴したいです。

○からだを動かす講座、チームマネジメントなどの講習を受けたいです。

○続けてお願いいたします。

○今回のような落語家やお笑い芸人

○宇宙飛行士の油井さんのおはなし

○落語のお話がとても素敵だったので、また聞いてみたいです。

○本日第一講座の、戸隠地質化石博物館研究員の田辺智隆先生の話は、何度も隣地講習でもお聞きしているのですが、まだまだ引き出しが多そうなので、たっぷり2時間、パワーポイントでお話しいただけるとどんな話が飛び出すか聞いてみたいです。

○落語家、お笑い芸人

○気軽と言っては失礼かもしれませんが、今回の講座のように予備知識なく気軽に参加できる講座があるとうれしいです。

○池上彰さん

○尾木直樹先生

○また、落語をぜひよろしくお願いします。

○引き続き落語

○来年度もぜひ落語をお聞きしたいですし、それぞれの業界の本物に触れる機会はとても刺激になると感じました。よろしくお願いいたします。

○ぜひ、また落語をお願いしたいです‥

○また、談慶師匠の別の内容・落語を聞いてみたいです。

○筑波大学名誉教授　野津有司先生

○さだまさしさん

○本講座「落語」のように、教育関係のみならず幅広い教養を身につけることができる講座がたくさん開かれると複数受講してみたいと思います。特に、談慶師匠のような芸能関係者の方はコミュニケーション力がとても高いので次回もお聞きしたいと思います。また、臨床心理学などの講演も聞いてみたいと思います。

○立川談慶さんは引き続きお願いしたいです。

○黒川伊保子さん。池上彰さん。荻原博子さん。プチ鹿島さん。前川喜平さん･･･。 談慶師匠のお言葉をいただき、「未来を描く」内容、グローバルな内容･･･。色々な課題が山積する世の中ですが、よりよい社会になるために尽力されている方のお話など。

○来年も師匠のお話をお聞きしたいです。

○野辺山の宇宙観測所の所長さん　 のお話を聞いてみたいです。

○来年度も落語を聞きたいです。

○ヨシタケシンスケ

○また、来年もお願いしたいです。

○噺家さんはやはり聞いていて楽しいです 来年もぜひどなたかにお願いして欲しいです

○落語、漫才。

○体験型が増え、魅力的な講座がたくさんありました。ありがとうございます。 地域に関係する講座を受講したいと思います。

○スポーツ選手。例えば、栗山監督が良いなぁ。

○SNSとの付き合い方について、どうでしょうか？

○スポーツに携わる方のお話が聴いてみたいです。

○来年も願いします。

○来年も、落語があるとうれしいです

○来年もまた師匠の話が聴きたいです。

○来年も談慶師匠の落語が聞きたいです。

○来年も談慶師匠の講演、お願いします。

○落語とても良かったです。来年もお願いしたいです。

○鈴木真奈美さん 岡田みな子さん

○外国からみた日本の様子を聞くという意味で，落語家の桂三輝（かつらさんしゃいん） 戸倉上山田温泉亀清旅館主人タイラーリンチさん

○長野市、上水内とゆかりのある方

○落語がおもしろかったので次回もぜひお聞きしたいです。

○今回のような笑いやユーモアと教育をつなげられるような講座があると、自分としては、ホッとできて嬉しいです。

○来年も師匠のお話を聞きたいです

○来年も落語をお願いします。

○落語を通した自己啓発の講座が大変よかったので、来年度以降も希望したいです。同様に、アナウンサーや漫才師といった話すことを仕事にしている方の講義も聴いてみたいです。

○人情噺をこの夏休みに聞けて、素敵な時間を過ごすことができました。立川談慶師匠のこれまでの歩みなどまた聞いてみたいと思いました。来年も師匠の講座をお願いします。

○他の落語家さんのお噺も聴いてみたいです。

○文化施設をさらに活用して、講座を増やしていただけると嬉しいです。（市立博物館、県立歴史館、県立美術館など・・・） ・人口増加の話題など、飯綱町が今、すごく盛り上がっていると思います。地域おこしの話題など、聞いてみたいと思います。

○談慶師匠のお話を来年も伺いたいです。

○来年もお話をお聞きしたいです。 ・学術的な講義もよいけれど、人の生き方に触れるお話がよいなと思います。

○長野県出身の芸能関係の方やスポーツ関係の方のお話をもっと聞いてみたいです！

○古典芸能に関わるお話をお聞きしたいと思います。

○今回のように、日常を忘れられるもの

○齋藤孝先生

○漫才などの角度からも掘り下げてお話をお聞きしたいとおもいました。

○魔法使いアキット

○様々な分野のお話で視野が広がってありがたい。夏休みは研修が出来るので、教育分野の講座ももう一つあるとありがたい。 新学習指導要領に関わるお話をお聞きしたい。

○スポーツ選手や監督。できれば現役。

○貧乏神神社の神主さんのお話が聞いてみたくなりました。 白井一幸さんのチーム作りのお話も聞きたいです。 中村文昭さんや白駒妃登美さん、松本で炭焼きをしている原伸介さん、寒天パパや軽井沢ビールを立ち上げた方達のお話も聞いてみたいです。

○談慶師匠の話を数回継続してみるのはいかがでしょうか？

○シジュウカラの研究　言語学者　鈴木先生

○左手のバイオリニスト　牧美花さん

○今日の講座でも長野県は今も活発な地殻変動の盛んな地域という話がありました。以前、宮下先生より善光寺地震の時の様子や人々の対応等を学びました。気がかりな「災害」のメカニズムや対応などのお話が聞けるとよいかと思いました。

○平田オリザさん